

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 515

事業名	花づくり協会		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	市民生活部	生活環境課		款	衛生費・4款
電話	0799 - 43 - 5024			項	保健衛生費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	環境美化対策費・6目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_		
	まちづくりの目標		子どもを産みたい_育てたいまち[子育て]		
	施策目標		ゴミのない清潔感あふれる安らぎの住環境をつくる		

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)			
		南あわじ市花づくり協会(市内の道路沿線などで花づくりを実施するグループにより構成。)			構成人数(人) 1,416
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 緑化による市内の環境美化推進。			
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 年2回の花苗配布。緑化資材の配布。視察研修。緑化講習会。			
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) 花づくりグループの相互協力、相互研鑽により持続的な花壇管理を行い、市内の環境美化に貢献する。			
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (生活環境課) <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()
	補助金算出根拠	20~30㎡の花壇管理に必要な資材の3~5割程度の資材補助及び管理技術向上のための研修を行うための必要経費試算は以下のとおり。 ・花苗250本を年2回配布 @50×250本×100団体×2回=2,500,000 ・緑化資材配布等資材@3000×100団体=300,000 ・研修時講師謝金 50,000円 研修、視察時資料、資材は参加者負担 ・視察時バス代 200,000円(55人乗2台) ・事務費 郵便代役員会飲物、出張旅費、消耗品50,000円 年会費@1000円×100団体=100,000円			
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~ 平成	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から 合併前にも旧町毎に花づくり団体が存在していたが、花苗育成の原材料を現物支給し花苗を配布する活動を主とする団体であったり、旧町が整備した特定の花壇管理業務を主要事業とする団体であったり、活動内容に相違があった。 平成17年度は団体が従前の活動を続ける一方で主要な団体の代表者により市単位の花づくり団体の設立及び事業内容について検討し、平成18年に設立した。				

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	2,691	3,000	3,000	3,000
	花づくり協会	250	3,000	3,000	3,000
	事務局事務費(市が事務局の場合)	2,441			
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	2,691	3,000	3,000	3,000
	人件費(正規職員)[B] (千円)	1,965	4,724	5,418	4,214
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	32	79	90	70
	事業量2(事業に要した人数)	2	2	2	2
	年間経費([A]+[B])	4,656	7,724	8,418	7,214
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	3.3	5.5	5.9	5.1
受益者人数(53,374)1人当り経費(千円)	0.1	0.1	0.2	0.1	
経費に関する補足説明	平成17年度事務費内訳 市榎列線沿植栽業務委託料...年額90万円(善光寺人づくり花づくり推進委員会) 三原花街道植栽業務委託料...年額100万円(三原人づくり花づくり推進委員会) 原材料費(西淡・緑宛) ...540,959円				

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 花づくりへの意欲、関心の高い住民の活動を結集することにより、花壇管理に必要な資材の一部提供のみで広範囲な緑化が行われている。	自己評価 (5点評価)
		5
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 市民の要望に応えるほか、観光地としての美観形成にも寄与している。	自己評価 (5点評価)
		5
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 活発な活動が実施されている。	
		<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p> </div>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>会員団体の緑化活動を未永く継続するために管理経費節減、花壇管理の省力化の方策を考えていく必要がある。</p> <p>今年は宿根草や低花木、カバープランツなどの経費節減、省力化に効果的と思われる資材の試験的な植栽などを行う。</p>	<p>前年より管理経費節減、花壇管理の省力化のために研究選定を行った宿根草や低花木、カバープランツなどの普及を図る。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>主要道路沿線や公共施設周辺などの植栽を担っている団体が多く、これらの花壇の管理が放棄されれば市民の住環境悪化、観光地としてのイメージダウンを招き、多大な損失が生じると予想する。</p> <p>花壇管理は水遣り、草引きなど煩瑣な作業を季節や天候に応じてきめ細かに行うことが求められる。「息切れ」により活動休止となる団体も出現することが懸念される。構成団体が管理する花壇のなかには、活動休止により管理放棄された場合にも観光地としての景観面などを考慮すると更地にもどしてしまう、という対応ができない箇所も多々ある。これらの花壇管理を行政で賄うことは多大の負担が生じるものとする。</p>	